

岡山甘栗苗木の定植後における初期管理

背景

岡山県農林水産総合センターでは、平成22年度より、岡山甘栗の産地化を図っているが、平成24年度、北東部を中心に、苗木定植後、初期管理（4月中旬～7月中旬）の徹底不足に伴い、当該苗木の初期成長低下が多地点で確認された。

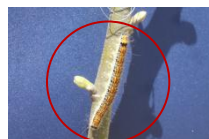
概要

苗木の定植後、初期成長の向上を図るため、初期管理上、特に必要な4項目を取り上げ、その管理方法についてそれぞれ紹介する。

初期管理 ①

新芽・葉の食害防止

- ★ 被害時期 : 4月中旬～6月下旬
- ★ 被害形態 : 新芽食害 初期成長低下 枯死
- ★ 対象害虫 : オビカレハ コガネムシ類ほか
- ★ 防除方法 : 薬剤散布
- ★ 防除回数 : 上記期間に複数回
(薬剤効果は2週間程度)



オビカレハ



マメコガネ

被害形態



新芽・葉の食害

初期管理 ②

台芽かき

- ★ 発生時期 : 5月上旬～7月中旬
- ★ 被害形態 : 台芽発生による初期成長低下
- ★ 処理方法 : 台芽かき(手作業)
- ★ 処理回数 : 上記期間に複数回
(随時)



台芽発生



取り除く

初期管理 ③

下草管理

- ★ 発生時期 : 5月中旬～7月中旬
- ★ 管理不足 : 穿孔性害虫による主幹侵入
- ★ 管理方法 : 下草の刈り払い
(苗木の周囲)
牧草類導入による草生管理
- ★ 処理回数 : 上記期間に複数回
(随時)



シロスジカミキリ



コウモリガ

下草の刈り払い



株元周りは常に刈り払う

初期管理 ④

施肥管理(追肥)

- ★ 散布時期 : 5月下旬～7月中旬(梅雨明け前)
- ★ 肥料形態 : 化成肥料(48:N:P:K 各16%)等の速効性肥料
- ★ 施肥量 : ひと握り(約15g)／本 (化学肥料48の場合)
- ★ 施用回数 : 上記期間に2～3回程度

問い合わせ先

森林研究所
JA勝英(営農生活センター)

TEL 0868-38-3151
TEL 0868-38-3134